

メモリーレコーダー用
専用リモートコントローラー
RU10
取扱説明書



ご使用上のご注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）
が必要なことを示す記号



一般的注意



手をはさまれる



一般表示



プラグをコンセントから抜く

●してはいけない行為
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

警告

◆万一、本製品に次のような異常が発生したときは、使用を中止してください。

※火災や感電、やけど、故障の原因になります。

- ・ 煙が出ている、異臭がするなどの異常のとき。
- ・ 内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・ 落としたりキャビネットが破損したとき。
- ・ 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。

■このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者または当社に修理を依頼してください。

■お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



◆不安定な場所に置かない

※ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落下したり、倒れたりして怪我や故障の原因になります。



◆表示された電源電圧以外で使用しない

※火災や感電、やけど、故障の原因になります。



◆内部に物を入れない

※通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因になります。

◆ぬらさない

※火災や感電の原因になります。



◆雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

※感電や故障の原因となります。



◆電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

※本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

◆本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

※内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。



◆電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

※ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。



◆電源コードを傷つけない

※電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 電源コードを加工しない。
- ・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・ 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・ 電源コードを熱器具に近づけない。



注意

◆本製品を以下のような場所に置かない

※火災や感電の原因になります。

- ・ 湿気や埃の多いところ。
- ・ 油煙や湯気の当たるところ。
- ・ 熱器具の近くなど。
- ・ 窓際など水滴の発生しやすいところ。

◆他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの説明書に従う

※指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災や、やけどの原因となることがあります。

◆通風孔をふさがない

※通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・ 横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

※通風孔をふさいだり、すき間から異物を指し込まないでください。故障の原因となることがあります。

◆移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

※接続したまま移動するとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

◆この機器の上に重い物を置かない

※重い物や本体からはみ出るような物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

◆長時間使用しない時は、電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。

◆お手入れをするときは電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

◆電源プラグはコードの部分を持って抜かない

※電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

◆濡れた手で電源を抜き差ししない

※感電の原因となることがあります。



免責事項

- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失等）に関して、当社はいかなる責任も負いかねます。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいかなる責任も負いかねます。
- ・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はいかなる責任も負いかねます。
- ・万一、製品不具合や停電などの外的要因で、音声の品質に障害を与えたり、データ内容が破損や消失のあった場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

< 目次 >

1. はじめに	1
1-1. 装置の特長	1
1-2. 構成	1
2. 準備と操作	2
2-1. 各部の名称と働き	2
2-2. リヤパネル各部の名称と働き	3
2-3. カウンター表示	4
3. 起動と終了	4

【ご注意】

本製品の内容は、製品改良のため、予告無しに変更することがあります。機能などに関するご質問は、当社営業まで、ご連絡ください。

1. はじめに

本装置は、メモリーレコーダーMXシリーズに接続する専用リモートコントローラです。録音や再生などの基本操作が行えます。

1-1. 装置の特長

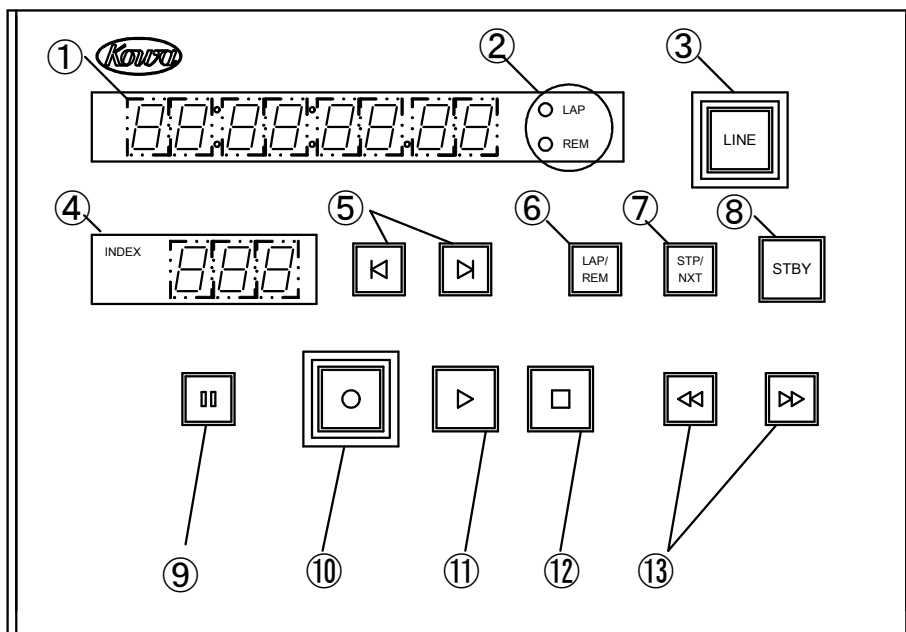
- ①録音、再生などの基本の操作性を向上させるメモリーレコーダー専用リモコンです。
- ②カウンター表示、INDEX番号表示により、本体フロントパネルを見ずに、録音や再生が行えます。
- ③照光スイッチを使用し、スイッチで再生中や録音中が分かります。
- ④大きさをハーフサイズにすることで、2台並べて収納することができます。
- ⑤録音ボタン、ラインボタンにガードを設けることで、誤操作を防止します。
- ⑥カウンター表示は、REMAINとLAPの切り換えが行えます。

1-2. 構成

- ① 本体 1
- ② 取扱説明書（本書） 1
- ③ ACアダプタ 1
- ④ 保証書 1
- ⑤ 接続用ケーブル（標準3m） 1

2. 準備と操作

2-1. 各部の名称と働き



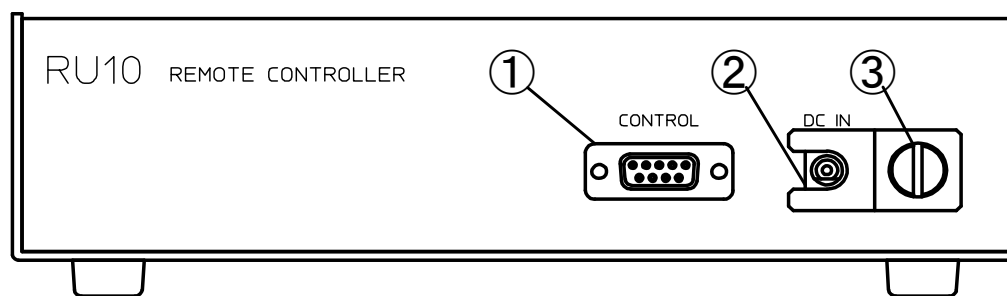
トラックボタン（図中の⑤）以外の各ボタンと表示は、メモリーレコーダー本体のフロントパネルと同じ動作になります。ボタン各モードの内容等はメモリーレコーダー本体の取扱説明書をご参照ください。リモコンによる操作は本体の操作方法と同一になります。本体の録音開始方法は、録音ボタンと再生ボタンの同時押しによる開始や録音ボタンだけの録音開始などが、設定によって選択できます。

1. カウンター表示
LAPまたはREMAINカウンター値を表示します。
例えば、“0時10分5秒100ms”は、“00:10:05.10”と表示されます。
2. LAP/REMAIN表示
現在のカウンター表示が、REMAIN表示かLAP表示かを示します。
3. LINEボタン
LINEのオン、オフボタンです。オン状態でスイッチは点灯しています。
4. INDEXカウンター
メモリーレコーダー本体のINDEX番号を表示します。
5. トラックボタン
INDEX番号のスクロールに使用します。
6. LAP/REMボタン
カウンター表示のLAPまたはREMAINの切替えに使用します。
7. STP/NXTボタン
STOP/NEXTモードの有効無効を切替えます。

長押しで有効になり、再度、長押しすると無効になります。STOP/NEXTモード中は点灯します。

8. STBYボタン
STANDBYモードの有効無効を切替えます。長押しで有効になり、再度、長押しすると無効になります。STANDBY中は点灯します。
9. 一時停止ボタン
一時停止をします。
10. 録音ボタン
録音に使用します。
11. 再生ボタン
再生または録音に使用します。
12. 停止ボタン
録音または再生に使用します。
13. FF, REWボタン
早送り、巻き戻し、キュー、レビューに使用します。

2-2. リヤパネル各部の名称と働き



1. CONTROLコネクタ
メモリーレコーダー本体との接続に使用します。付属のケーブルで、本体のEXTコネクタに接続します。リモコンを接続するメモリーレコーダー本体は、リモコン向けの設定を行う必要があります。
2. DC電源入力
DC 5Vの入力端子です。付属のACアダプタを接続してください。
3. はずれ留め金具
ACアダプタがはずれてしまうことを防ぐための金具です。

2-3. カウンター表示

カウンター表示には、いくつかの状態があります。以下にこれを示します。

1. LAPカウンター表示



LAPカウンター表示の状態です。LAPを示すLEDが点灯します。この例では、1時10分38秒500msを示しています。

2. REMAINカウンター表示



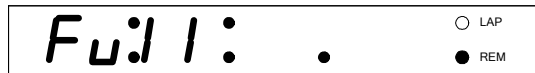
REMAINカウンター表示の状態です。REMAINカウンターの表示は、秒単位です。

3. メディア未挿入



メディアが挿入されていない状態です。

4. 録音できない状態



空き容量がない状態で録音開始した場合に表示されます。

5. エラー表示



CFカードまたはUSBメモリ内のリスト情報に記載されている素材が削除されて見当たらない場合などで表示がされます。エラー内容は本体のフロントパネルに表示されます。

3. 起動と終了

リモコンの電源を接続しておきます。メモリーレコーダー本体を起動すると、INDEX番号001の状態になります。

本体電源を落とすと、リモコン表示は最後に表示した内容を表示しています。



興和株式会社
電機光学事業部 放送機器本部
放送機器営業部

〒103-8433

東京都中央区日本橋本町3丁目4-14

TEL (03) 5623-8074

FAX (03) 5623-8070

© 2008Kowa Company, Ltd. All rights reserved.

Printed in Japan Ver JP01.00.00